

2-11 どんな支援があると、ひとりで抱え込まずに状況を伝えてみようと思えますか？

(4月23日748人回答)

○心の傷を埋めてくれる制度。被害申告の際に、自分の有給休暇を使わなくて良い制度。

○被害を否定されたり疑われない場/女性が相手の方が話しやすい/加害者が正しく罰せられる場。

まず、自分達が日常的に受けている屈辱的な出来事が「犯罪であり、ケアされるべき対象である」という発信が必要だと思います。女性同士で話すことで「よくある、我慢すべきこと」に矮小化されていると思うので。

○対策を講じようと動いてくれるだけで伝えた意味を感じる。

○痴漢は犯罪であり、『よくある事』では済まないという社会的な通念が男女とももっと根付かないとダメだと思う。

○駅員さんや警察官などが服装や状況などで「あなたも悪い」という雰囲気や言動を出さないで欲しい。

仕事の帰りなのに夜道を歩くのはやめなさいと言われた時は啞然とした。

○駅でもっと犯罪者、被害者両方に対する呼びかけがあればいい。行政と鉄道会社がもっと強力で犯罪を許さない態度を示すのが大事。

○警察は何回も同じことを話させたり、相手が子供だと舐めて偉そうな対応をすると聞いているので、警察やJRや学校や会社に通報するとき・取調べのときに一緒にいて欲しい。

○痴漢は犯罪なのだから、加害者を実名でリスト化し、公開して欲しい。

○痴漢もぶつかりも露出も「性犯罪」であり、加害者が悪く、被害者に落ち度がないと周知されていること。「被害者にもスキがあった」みたいな社会だと何も言えない。

○あまりに腹立たしくて加害者を痛めつけたいとしか思えない。

○兎に角痴漢を厳罰化してほしい。痴漢くらいで...という空気をどうにかしてほしい。GPSを植え付けたり公共機関に乗れなくしてほしい。

○駅や鉄道会社に相談窓口があるべきでは？

○その場でスマホアプリなどを使って、声を出さずに確実に通報できる、周囲に知らせられる、犯人を制圧できる仕組み。

○駅に痴漢や犯罪専門の窓口があればいいなと思う。駅員は犯罪対応以外の通常の業務で忙しいと予想されるし、めんどくさそうに対応されるのが一番辛い。

そもそも電車内で痴漢の証拠を押さえやすいような状況になってほしい。

○私だったら電話ではなくチャットの方が安心すると思います。(身バレが怖いので知り合いなら電話、知らない人ならチャットがいいです。)

あと相談ハードルをできるだけ低くしてほしいです。私自身色々相談できるサイトにアクセスすることはあるんですが、勇気が出ず実際に相談したことがないので...

私みたいな被害は全然マシじゃない？とかもっとしんどい人もいるだろうから...と相談をやめてしまうことが多いので、門戸が広いというか、性被害という言葉は強いので、自分が遭ったのは性被害じゃないと思っている人には届きづらいと思います。(今回の調査も「痴漢被害の」とつくことで、怖い思いをしたことはあるけど、痴漢には遭ったことないって人は回答までいかないのかもな、と正直なところ思いました。)

○支援というか、社会全体で痴漢を許さないという空気になってほしいです。今はまだまだ痴漢はお色気ネタとして軽く扱われていてネットにも溢れています。私が何より辛いのは私が声を上げなかったことで娘の時代にこの地獄を引き継いでしまったことです。声を上げることは未来の被害者を減らすことという認識があれば勇気が持てたかもしれないと悔やみます。そして痴漢を捕まえていたら遅刻してしまうので声を上げられないのも大きいです。とりあえず痴漢を駅員に引き渡して調書は時間のある時に受けられるとか捕まえたなら遅刻にならないとか(でもこれだと毎日

遅れてしまう)システムが必要だと思います。

○中学生の自分には、容姿関係なく自分がそういう性的対象であるということを、知識として知っておいて欲しかったと思うので、暗闇の路地には行かないようにと教えてあげたい。保健室に痴漢相談とか、駅でも、警察まで大袈裟ではない（ことを荒立てたくないし、恥ずかしいから、警察へ通報とかまで仰々しくないといい。警察に相談した、となると、それほどの被害を受けてしまったのかと、自分でも深刻な体験をしたのではないかというイメージがさらに自分を痛めつけそうなので）痴漢被害の声を集めてますとか、そういうところがあれば、（あっ、こんな自分の情報でも役に立つのかなと思って）こんなことあったよ、先生、と気軽に報告通報できる場所があるとよいと思った。大人になっても気軽に報告出来るところがほしい。そこで、軽く扱って自分の体験をしっかり聞いてもらって対応してくれると、さらに心強くなれると思う。

○電車車両にカメラがあって証拠が残る状況になっていること。
声をあげたら迷惑そうにせず捕まえてもらえること。
犯人を捕まえるために多少手荒な事をしてても罪に問われないこと。

○小さい頃から学校で痴漢被害に遭った場合、同じ車両で被害者が声をあげた場合の対処法を教え、練習する。私は小学生の頃に高校生の友達から痴漢に遭った話を何度か聞いていたので、大きくなったらそういう目に遭うものなのかと勘違いしていた。そもそも通報するという発想が無かったし、犯罪だと言われてもいざ声を上げるのは心理的にかなりハードルが高いため、練習と周りの誰かが助けてくれるはずというある程度の信頼が必要。

○電車内の監視カメラ、鉄道警察の増員。自分ひとりでは戦えません。

○匿名で、周りの人には知られないようにしてほしい。自分が責められることないように、逆恨みされないように対応してほしい。

○電車内などは監視カメラがあるとありがたいです。あとセカンドレイプをされないように被害者を攻めないように社会全体で取り組んで欲しい。

その場で伝えても安心だと分かるような信頼できる社会になって欲しいです。

○匿名の、被害者同士で話せる掲示板。

○気軽に通報したり相談出来る（それで動いてくれる）仕組みがあるといいなと思います。

○ハラスメントの現場を目撃した時に、当事者だけじゃなく周りが声を掛けられるような、具体的な方法などを教えてくれる講座などあるといいなと思います。
あと小学生のうちから、きちんとした性教育や女性蔑視に繋がらないためのジェンダーバイアス等の教育が必要だと思います。

○女性を押さえつける有害な男性を排除した、被害者に寄り添える相談員、施設があるといい。

○支援というより、電車内の防犯カメラ設置と、痴漢は許さないというポスターを増やしてほしい。女性に向けた「痴漢に気をつけて!」「痴漢は通報して」というポスターはやめて欲しい。「痴漢をする人」に向けて「痴漢は犯罪であり、罰せられるので痴漢をするな」というメッセージをきちんと出して欲しいし、きちんと罰せられるようになって欲しい。
今のままでは「どうせ声をあげても犯人は捕まらない」という思いから声を上げる気にならないので、「声をあげたら犯人が捕まる」世の中になってほしい。

○匿名、無料でスマホで気軽に相談できる場所。

○学校や公共施設で気軽に相談したり被害を報告・共有できるスペースがあること。ただ、日常的に遭遇すると気にも止めなくなる可能性が大きいので、まずはおおごとだと思っただけの被害であることを認識できる必要があると思う。

○性犯罪者情報の公開。

○犯罪者を確実に逮捕して多大な慰謝料請求できる社会。

○親向けに、子どもが被害にあったときのチャートがのった冊子。予防接種の間診票などと一緒に郵送してほしい。思春期～大人の女性向けにはインスタなどでの窓口案内。おしゃれに。

○目に見える場所に警官や警備員が沢山いること。政治や警察に期待していることは、事件そのものを起こさないことだから。そのため税金を納めている。

○声をあげれば、誰か助けてくれる人がいるんだと信じられるような世の中であればよかったです(私の体験は何十年も前なので世間は「痴漢される方に落ち度があったんだろう」という雰囲気でした。)

○私の場合、比較的被害が軽いので支援は不要です。駅のホームに警官が常駐すれば届け出やすくなります。サミットの時のように警備してほしいです。

被害届を出したこともあります。捜査に乗り気でない警官に対応されて嫌な気分になりました。ちゃんと対応しているという実績を示して欲しいです。

被害者が抱え込むというより伝えたところで現状が良くなるという事実が気を削ぐので。

加害者が必ず収監されるなら被害届を出しやすいです。加害者の転居を命じる法律を作ってください。(加害者が向かいの家の住人なので。)

○これは被害であり、犯罪であると知っている世間。

○まず痴漢が出たときに皆で捕まえようという空気が無い、呼び掛けられるのは自衛ばかり。

犯人に向かっての脅迫めいたポスターも無く、取り調べの拘束も長いのでとりあえず連絡先だけ書いて犯人被害者以外の証人はその後時間のある時に欲しいし遅刻しても遅延証明書のようなものを出して欲しいし、会社の方に遅刻分補填のようにお金をあげて欲しい。捕まえたら金一封くらいあればいいのにと、性犯罪の犯人は全員GPSつけて欲しいし電車内に1両につき10台くらい

防犯カメラつけて追跡できるようにしてほしい。

○私や友人が被害に遭っていた30年以上前から、ほとんど状況が変わっていないのが残念です。具体的な支援は思いつきませんが、痴漢や盗撮等を軽視せず、重大な犯罪だという共通認識を社会全体で持つことが最低条件だと思います。

○アプリで被害状況の報告などができてどこで被害があるか見れたら気をつけられるのではないかと思います。またその状況をみて警察の方が見回りなどして頂ければ安心できます。

○どんな人(老人から幼児、男性含む)でも被害者になりうることを、時間を置かないと言葉に出来ないこと、被害者は人権侵害を受け尊厳を傷つけられたことを理解しているというアナウンスがあったうえで、痴漢被害を軽んじない姿勢を示してくれると、自分が被害を訴えたと言っても信用してもらえと思える気がする。

(恥ずかしい、言葉は、被害者本人達はそういう言葉を使うかもしれないが自分はピンと来ない。軽んじられた、人形扱いされた、侮辱を受けた、という感じ。この身体があるうちは人扱いされないような感覚。それを言うことで他の人まで自分をそういう物体として扱われたモノとしてイメージしてしまうのではないか、という恐れ)

○学校などで、女性の先生が相談しやすいと思う。

○オープンにアクセスできる被害届サイトなど。

○性犯罪者にはGPSつけて名前も公表して社会的にも死んでくれたらそれでいい。

○痴漢を監視する意気を醸成すること。

○歪相談センターとかあると嬉しい。

○小さなことでも性被害なんだ、と認識してもらおう。今はこれくらい軽いものだ、と思わされる社会だと思う。

○社会的に制裁することが当然という空気の醸成。恥ずかしくないことであり暴行被害であるという当然の社会認識がもっと必要。

○そもそも警察が痴漢等の性犯罪を軽んじていて刑罰も軽いのでそこを変えてほしい。

○よく分からないです。

○匿名で報告だけでも気軽にできて、この電車は痴漢がある、何車両目など可視化して欲しい。

○被害に遭うのは隙があるからだなどど批判される心配がないこと。

○LINE や電話で相談ができる窓口、みんなの被害に遭った経験がシェアされるオンラインコミュニティ。

○被害者に自衛や落ち度を求めるのではなくて犯罪行為をしっかりと取り締まる姿勢をはっきり示して欲しい。

○地味ですが、ポスター啓発はなくしてはけないと思う。

痴漢対応に限らず女性スタッフだけが常駐する場所。男子禁制。(ただ、女性スタッフだけだと狙われる場合もあるし、LGBT には配慮要)看護師、カウンセラーなど、プロスタッフ。警官。

地下鉄私鉄 JR の要所にいてくれれば。ボランティアではなく、プロスタッフ。親切なだけの人は、被害を大きくする。

情報が共有化できるしくみ、遅延情報のような発生情報を書き込める。または投稿できるシステム、その車両、避けられるようにする。高校など学校のシステムの一部で集積できると、デマや虚偽報告が減るのではないかとともに思います。男性側の支援。性的異常？は言い出せないのではないのでしょうか。快感、いたずらなだけだと思ってるのかもしれませんが。

○まず、被害者が責められない社会になること。

○支援というより、「他人の身体に無許可に触れることは非常識で恥ずべきことだ」「されたら怒ってもいいことだ」という認識が社会の共通であれば、安心して被害を被害とし

て申告できるのだろうと思う。強いて言うなら、小学生、もっと初歩的などころからなら幼稚園児の頃に、性的な機能だけではなく他者の人権を尊重することを教える性教育を施すことを義務にしてほしい。

○継続的に支援をしてくれる専門家と繋がるシステム。

○相談出来る電話やネットのサービス。

○小学生からの男女共有の性教育。避妊よりつきあい方。英国の紅茶を用いた説明のような話せる環境があったら言える。

○ワンストップで相談できる窓口、担当者が女性、SNS。

○性被害にあっても警察にぞんざいに扱われると聞いていたので、もっと被害者に寄り添った対応をしてくれるとなればひとりで抱え込まずに済むと思う。

また、特に男性になるが、自分や自分の周りが被害にあっていないからといって「そんなことあまりない」というようなことを言わないでほしい。

○電車の中に通報ボタンがあり、それを押すとすぐに停車→ドアは閉まり出れないようになり全員に微物検査が出来る→犯人は捕まり、二度と公共交通機関を利用できない。

○まず性被害を受けることは恥ではなく100%加害者が悪いのだという認識が社会にないと、特に子どもは被害を話せないと思います。保護者や教職者など子どもが信頼できる大人がそのように発信することが大切だと思いますし、そのためには大人側社会の側の意識を変える必要がえると思います。

○被害が起こらないようにして欲しい。刑罰をもっと重くして犯罪を起こせないようにして欲しい。

○駅に相談員を配備。

○加害側をどうにかしてくださいとしか思えません。

○痴漢犯罪がもっと卑劣で凶悪であることが周知された社会なら言いやすいかも。現状

は、エロやエンタメにつながる部分がまだ色濃くある。

○支援も必要ですが法律が欲しい。盗撮罪や女性差別禁止法が必要です。支援は法律がないとできない。そして、女性として生まれた人々の尊厳や生存権を守ってほしい。

○まずは痴漢を軽く見ない社会的な雰囲気醸成が大切だと思います。「たいしたことない」と軽く流されるくらいなら話さないほうがマシと思う人も多いと思います。

○わからない。でも経験から、危なそうな人がいたら盾になるとか知り合いを装って話しかけるとかしようと思がけている。

○親切な警察の対応。

○電車で私服警察を巡回させ、痴漢警戒のため私服警察官が巡回中です、お困りでしたらお知らせくださいなどアナウンスを常時流してほしい(知らせはブザーなどを用意するかアプリを作るなど)。

○全ての電車、バスに防犯カメラを。痴漢は重大な性犯罪ですとアナウンスを。

○痴漢をする側が絶対に悪いこと、訴えることは恥ずかしいことじゃないことを知る機会。

○世間が被害者を責めない風潮になっていること。悪いのは100%加害者だという共通認識が出来上がること。個別支援も必要だろうけど、大前提を変える取り組みを男性の権威ある人間が発信し実行することがこの日本では効果的。

○周りの人の気づき。

○加害者への厳罰が下されること、報復されないこと。

○こういうことは性犯罪だ、被害者は何も悪くない、と子供の頃から正しく教えること。

○難しい、そんなひどい行為の対象にされたと言うショックが大きくて、自分が軽視されて汚されたと言う惨めな気持ちが大きくて、怖くて、若い頃には他人に相談するのは難し

かった。痴漢行為は割と高校の時友人同士で話題にあがるが多かったので打ち明けることが出来た。

○話しても茶化したり他の人(親とか教師)に言いふらしたりしない信頼出来るスクールカウンセラーだったり、身近に話せる時間を作ったりすれば話すきっかけにはなるかもしれません。

○社会が女性を消費しないのが当たり前にならないと無理。ソシャゲや溢れかえるエロ広告で『女性は消費するもの』として世間が扱ってるので、それが当たり前で駄目な事、厳罰化しないとどうせ泣き寝入り。

○痴漢や変質者が社会的に犯罪者だと大きく言われる世の中ならもっと勇気がでる。

○家庭内でのセクハラが横行していると常識になれば、家長制度がなくなり、男親が無条件に偉そうにしなくなれば。

○とにかく警察が動くこと。

○被害者が二次被害を受けないよう守ってもらえること。

○小さい頃から、こういうことは犯罪だと言うことを教えてもらってれば、その場で言えたかもしれない。

○性暴力を許さないという社会的な空気。

○誰かがスマホで撮影しておいて、駅員に説明するときに説明してくれる。痴漢警報アプリを押すと大きくブザー音がした後に「こちらで痴漢が発生しました。自動的に警察に通報します。周辺の方でお気づきの方は、立件にご協力下さい。繰り返します。。。。」と鳴るようにしたら、少なくともビビって加害者は逃げるだろう。特定することを目的とせず、してはいけないことだと社会に認知してもらうことを目的とする。もちろん本当に警察の担当部署に繋いで、話を聞いてもらいたいです。小学生の防犯ブザーみたいなのかな。

○支援先の警察、駅員、自治会役員に女性が増えればいい。議員も。男性には相談できない。統計上は日本は性犯罪が少ないとか、冤

罪もあるとか、悪気はなかったとか、男はそういうものだとかいうのは大抵男性。男がまず女の性被害について聞く耳を持ってほしい。

○今となってはわかりません。

○まず周りが声をかけたり助けてくれる状況作り。

○警察に専門の部署があれば。

○あれから4、50年経っても鮮明に思い起こされるほどの忌むような記憶です。今はこの様にSNSを使って発信出来ます。又その場で写真も撮れます。触れたら即座にブザーが鳴ったり、警報音が鳴ったりできるのが身につけられるのが出来たらいいかな。

○当事者として、は難しい。

○性犯罪というものがどういうものなのか、小さい頃から教育されていたら良かったと思う。なぜ、性器を触られたり、見せられたりすると怖いのかとか。中学生なのに、分かっていなかったことが怖い。

○交番に行ったのに、被害届出すかどうかだけの話だったのは、残念だった。

○世の中が過剰に痴漢冤罪を持ち上げてしまっているため、被害者も「冤罪だったらどうしよう。」といった不安から通報や相談をしないパターンが多くあると思います。そして、痴漢に気付いていても関わりたくないといった心理から、被害者を助けずに見ぬふりをする人もいます。そのため、まずは一人一人が再度“痴漢＝犯罪”であるという意識を持つことが必要だと考えます。また、サイトから匿名で被害を報告できるような相談窓口（いつ、どこで、このような被害にあった）があれば、被害者が1人で抱え込まずに被害状況を発信できるかと思えます。

○偏見を持たず、性的な知識もあるカウンセラーが身近にいて無料で相談できること

○支援の前に、まず街灯を増やしてほしい。子供の頃から男の子に教育してほしい。

○こういった匿名のアンケートがあると話しくなりそうです。

○対策などは尋ねられるまで話さずにただ恐怖などに共感してもらえたらいい。

○警察に行くのは、時間もかかるし個人情報も扱われるので不安が大きい。このアンケートのような形で情報提供して、公道であれば見回りを増やすなどしてもらえたら安心できる。

○加害者を許さないという雰囲気。電車に防犯カメラがほしいです。ずっと言っていてできなくて、電車テロがあると検討されるのは、女性軽視されてるとかんじました。

○警視庁のアプリがあるんですね。ただこれも駅員さんや警察が来てくれるわけでもなく、周りの協力を得られなければ結局自分ではなんとかしなければならずハードルが高く実用性は今ひとつと感じます。声が出ないのではない、出しても無反応、が怖いのです。また仮に被害女性の多くが声をあげたら、対応人員不足で結局パンクするかと。もうそこらじゅうですよ、痴漢。駅員も警察も対応しきれない。

根本解決は、被害者が頑張るのではなく性犯罪が起きにくい環境づくりでは？

女性専用車両もありますが、何より満員電車を緩和させることでは？

それには公共インフラの再公営化だと思います。JR東日本が春から本数を減らす（通勤通学時間も減らす）ようですが、痴漢にとっては好都合です。公共のものを民営化すると利益を出すためコストカット、サービス改悪の一途なのは問題です。公共インフラは国が運営するべきで黒字である必要はない。地方では廃線も増え北海道などはもはやヤスカスカ。痴漢に限らず民営化の害は大きいです。また人口が都市に集中することも原因のひとつと考えます。地方を蔑ろにしてきた政治の結果です。

○当時は今の様にSNSが無かった時代なので、簡単に書き込み式で報告できるサイトが当時あれば利用したと思います。

○痴漢は犯罪行為であることを、男性が男性に諭してくれる支援が欲しい。Not all menのムーブメントを作りたい。

○痴漢やハラスメントについて、学校で教えて欲しかった。相談窓口として、LINE やメールが提示されていたら、相談しやすかった。被害に遭った時、どうしたら良いのか、ポスターなど、電車内や駅にあったら良かった。

○見かけた人から声をかけて欲しい。

○痴漢にあっても悪いのは加害者であること、痴漢被害者に対する間違った認識をなくすこと。痴漢は身近な犯罪であることを、特に男性に知ってもらうこと。

○相談したら絶対相手を逮捕してくれる、というような痴漢が極悪という世間になってくれたら、自分は被害者である自覚ができた。小中学校から、こんな経験したらそれは被害で先生や誰かに相談でき、話を聞いてもらえたらと思う。

○この程度では、とってしまうので、何が痴漢に当たるからぜひ通報するように、と駅の看板や電車内の広告などで伝えてほしい。

○信頼できる電話番号や場所があるといいと思います。

○痴漢にあったら書き込めるアプリなんかがあると良いかもしれません(その集計を元に警備を強化したり防犯カメラを設置したりして対応してもらえる。本人が必要とチェックを入れた場合には個別にカウンセリングの電話が来るなど)。身近な友人に話せる人ばかりではないので、匿名で書けると安心です。自分のためではなく、これから他の人が同じ被害に合わないためと思えば勇気を出して書き込める人もいます。

○通報しても警察でまともに対応してくれないと思ったのでできなかった。警察でどんな対応をしてくれるのかわかれば通報しようとおもえたかも。

○このアンケートの様に、自分が特定されずに人の目を気にせず話せる場や、同じような経験をした方との交流し、痛みを分かち合える場。想いを吐き出すだけでも気持ちが和らげられる。幼くて理解してない被害者は沢山いると思う。その事も広く知ってもらいたい。

○相談窓口などが駅が目立つ所に有れば、伝えられたかもしれません。

男性にもっと自分達が獣の要素があると幼き頃から自覚させる、そう言う教育が必要であると思う、男性はチャホヤされ育ち女性に対して対等だと言う意識が無い、あとは、自分たちがみっともないって意識薄い...皆やってる...そう言うのを無くさないとダメなんだと思ってます。

○監視カメラの増設。

○安心して伝えられる相手(否定したり、責めたり、多言しない、大事にしない)に、伝えやすい方法で伝える(対面、文字、電話など)。

○対面だと恥ずかしいのでメールなどで相談出来たら嬉しいです。その場合「貴女にも非があった」などと否定せずに聴いてくれるだけで良いです。

○学校にも企業にも、カウンセラーさんがいらっしゃったら、こんな時にも相談にのって下さったり、親身になってお話を聴いたりして下さったりするのかな...と思います。

○費用を気にせずに依頼できる弁護士による警察への被害届提出による刑事事件化。逆恨みや報復を避けられる真の意味での被害者保護。被害者の治療費を被害者自身が支払う現状はしんどすぎて死にたくなる。

○身近にある日常という認識が、あきらめに繋がると思うので、痴漢は日本の恥で、卑劣で卑怯な重い犯罪であるという意識を強くもって、立ち向かってやるという気持ちが大切なので、それを呼びかけて欲しい。電車内の『痴漢は犯罪です』のアナウンスは良い例だと思います。

○学校や会社、自治体、鉄道やバスなどにそれぞれ対策室があれば相談した。その機関が窓口で警察と法的機関が対応し、しっかり捌く環境があれば。

○学校から生徒に「痴漢に遭ったら報告してほしい」等の呼びかけをしてほしい。(かつ学校から鉄道会社に対策強化を求めてほしい)。

○電話やネットでの相談窓口があると良いと思う。

○その時の私はそれを性被害だとは思ってなかった。
私の隙があったからいけないんだと思っていたので、どんな支援があっても話せないと思う。

○変質者の出没エリアをシェアできたら、避けます。

○痴漢を許さないという周りの態度。通報したときに、まわりや警察官が被害者に対して二次加害をしないような教育。

○痴漢防止月間などのキャンペーン、痴漢撲滅バッジの掲示（赤い羽みたいなもの）、誰かが付き添ってくれるサービス。

○ホットラインや駅などにすぐ駆け込める施設があるといい（女性の担当者が常勤しているような場所を想定してます）。

○痴漢専門の警察。

○警察や鉄道職員が真剣に取り合ってくれる環境、二次加害的発言をされない環境。

○駅構内にカメラをつけて確実に証拠を残してほしい。

○各駅に相談窓口（女性が対応）があればいいと思う。電車内にカメラ設置。

○どんなことをされると痴漢のような指標があると声を上げやすいとおもう。

○被害者に隙があるから等、被害者に落ち度があるような声が無くなれば良い。

○高校生だったので保健の先生や女性の先生で相談できる人が身近にいればよかった。

○いつでも頼れる支援の窓口（電話などなら女性の方が出ることが確約されているもの）

○加害者への捜査、厳しい罰則、駅構内で被害専用の受付窓口があれば言いやすい（通常窓口には他の人もいて言いにくい）。

○被害にあったことを否定しないでほしい。

○学内カウンセリングや、社外メンタルヘルス相談など。

○被害に合う前から、被害者は悪くない事を知っていたら良かったと思う。

○被害者の立場に立って理解し、解決策と一緒に考えてくれる支援。

○まず被害を受けたら届けるのがあたりまえ、ということを知ってほしかった。警察等に専用の窓口があり、女性が待機してくれていると話せると思う。

○痴漢を知らなかったもので、幼児の頃から男女ともそういう危険があること、そのときどう対処するかということを知る機会があるといい。

○話した後しっかり守ってくれたり、対策をしてくれるような機関。

○警察に即通報。加害者に厳罰。

○こういった被害は特別でもなんでもなくて常日頃本当にある事だと世の中に特に男性にわかってもらって加害者が一方的に悪いことなのだと周知徹底されてほしい。
痴漢は犯罪であり被害に遭うのは恥ずかしい事ではないということの子供の頃から知りたかった。

○今だったら、ネットや電話で無料のホットラインがあればいいやと思います。子供はアクセスできない子も出てくるので、学校や児童館など子供が集まる場以外（絶対他の子に聞かれない話なので）で何かいい場所があればと思います。

○まず、時間を置かずに被害について安心して話せる相手と場所があればと思う。

○人権教育をちゃんと受けた大人が定期的に巡回してくれる車とか交番など連携してくれる組織があると良い。

○被害に遭った後のケアも必要ですが、被害に遭っている最中に声をあげたら必ず助けてくれる、味方になってくれるシステムがあれば良いと思います。

○電車での被害も多いので、アナウンスをもっとしてほしい。痴漢 NO バッジをご存知ですか？それを付けたら被害が減った人が多数のようです。痴漢は相手が喜んでいと心から勘違いしてる人が多いようなのでそれをもっとアナウンスしてほしい。

○LINE などすぐに相談ができるものがあると思う。文字だと電話で言葉として発生するよりもトラウマが甦らず冷静に考えられる部分もあると思うので。

○痴漢は犯罪だということを徹底的に浸透させる事。駅のポスターや駅のトイレなどに被害相談窓口の QR コードなど。

○体液をかけられた、という被害を受けた明確な証拠があったので話せたが、そうでなければ警察や駅員には話せなかったと思う。電車と連携した匿名通報アプリがあれば、被害を受けたことを発信することはできるかもしれない。(被害を申告すると乗っている電車内にアナウンスが入る、次の駅で改札が待機している、など)。

○性犯罪の加害者が多い事をもっと世の中に周知させ、被害者となること多い女性は守られる側であることを認知されたい。

○女の人の警護サービスを無料で。防犯カメラがあっても被害者に映像を見せないし、警察も大したことないとほったらかしてみないから意味がない。

○親や学校からそういった被害を受ける可能性があること、そういったときの対処法を聞いていれば行動できたかもしれない。

○支援というか、まず痴漢にあった人にも悪いところがある、ではなく、とにかく痴漢行為をする人が悪いということが広まってくれば、自分は悪くないんだ、被害者なんだと声をあげやすくなると思う。

○痴漢は犯罪だということを共通認識として広める。

○その地域、場所の警備の強化。

○社会のムード。被害者は何も悪くないというムード作りがもっと活発になってほしい。

○職場とは別の、独立機関のような相談センター。そこを通して、職場にも通達をしてもらえるようなところ。

○自分からつらい過去を話さずとも性被害をする人間を社会が絶対に許さないという世界になればそれだけ救われる。

○痴漢は犯罪であること、性犯罪は冗談ではなく悪であることが社会全体の常識になれば。被害者側が悪い、落ち度があると言われる空気では言い出せない。

痴漢やレイプもののコンテンツで興奮するのは異常だという風潮になってほしい。

○SNS を活用して、相談窓口を作って欲しいと思います。匿名で話を聞いてあげて、メンタルが辛い方には医療機関を紹介してあげてください。

○駅に「痴漢を許さない、痴漢されたり見たりしたら〇〇へ」などのポスターがあると心強い。相談できる女性警察官がいると良い。

○専用の電話、専門機関の SNS など匿名でもいつでもどこでも相談できる手段を整えて欲しい。

○駅などは、女性の駅員が常駐してほしい。

○被害を報告するアプリ、電車内、駅構内にポスターを貼って欲しい。「被害者は悪くない、見かけたら助け合おう」など書いてほしい。被害に遭う人に注意喚起するのではなく加害者に向けてのポスターや撲滅運動をしてほしい。

○駅のホームに女性の警備員や相談員がいる。

○こういうことが起きたら犯罪被害者であるという具体例を日頃から園や学校で教えられていること。

○痴漢被害ダイヤルみたいなものがあれば対策とか相談できるかな。

○被害にあったことを軽んじず、犯罪として扱ってくれること。

○今この時点で、痴漢にあうのは圧倒的に相手が悪いと思えないような風潮。なので、安心して共感してくれる相手の存在。まずはそこから。Twitter はミソジニーに溢れていて労多くして益なし。

○わからない。

○痴漢が発生するたびに新聞やテレビで大々的に犯人の顔と名前を報道してほしい。冤罪は圧倒的に少ないことや、冤罪が一！と叫ぶ人の悪質性を国や自治体、鉄道会社から発信して欲しい。悪いのは痴漢する側だとメッセージでも行動でも示してほしい。

○女性専用車両を増やしてほしい。大阪メトロに以前聞いたら増やす気がないと言われた。女性の警察官を増やしてほしい。

○被害者を叱らない・責めない専門的支援者がいれば。

○匿名で、無料で話せる電話があれば話せるのではと思います。

○ネットのほうが言いやすいかなと思います。被害状況をただ報告するだけのサイトがあってもいいのかなど。

○社会全体が、性加害を許さない雰囲気。

○「声を上げて」とよく言われるが、被害に遭っているときに声を上げられる勇気のある人は殆どいないと思う。周りが気がついてくれて助けてほしい。痴漢 SOS ブザーのようなものがあれば良いなとも思う。その場で声を上げられなくても自分を弱虫だと恥じなくて良いという声があってほしい。

○そもそも痴漢が人権侵害だと子供の頃から教えてほしい。大人になってから、あれは怒ってよかったんだと気づいた。

○話を共有できるオンラインサロンなど。

○学校に専門の知識を持ったカウンセラーや支援員が居て周知されている状況。

○警察が親身に痴漢の訴えに対処してくれるという信頼。

○支援ではないかもしれないけど、とにかく周りが性犯罪を許さない姿勢を示す。変態や痴漢をお笑いネタにしない。

○今みたいに SNS があれば誰かに話せたかも。

○電車内から警察に通報すると駆けつけてもらえるアプリがイギリスなどにはあると聞いた。日本でも迅速に対応してもらいたい。

○警察や駅で一緒に付き添ってくれる人がいるといい。

○警備強化、犯人逮捕など未来が良くなること。

○24 時間無料で匿名、電話以外ですぐ相談できる窓口がほしい。男性にもハラスメントに対する認識や発見した時のフォロー方法を学んでほしい。

○痴漢を捕まえてください。捕まえてくれるなら協力しようと思えます。

○当時は、話を聴いてくれるだけでも良かったかもしれない。

○被害に遭ってから、具体的にどう行動すればいいか、誰に報告すればいいかを事前知っておけるような支援。常々、駅に掲示されていたらいいのにと思っている。（目撃したらどうすればいいか等も）

○駅構内・電車内の被害においては(駅員さんは常に忙しそうなので)別途申告できる保安員のような方がいるといいと思います。また、男性の大多数には被害の恐怖感が伝わらないため、できれば女性が望ましいです。

○社会や企業（鉄道会社など、女性への加害が多く発生するところを管轄する組織）が、まずは加害者への毅然とした対応を示すことが、伝えやすさに繋がるような気がしています。自分の被害を駅係員や警察に軽く扱われると、被害者に話しても無駄だという諦めの気持ちが出てきて今までと同じになってしまうと思います。

○痴漢は犯罪だと小さい頃から理解させる。

○親世代は痴漢を犯罪とも思っていないのか軽く受け止めており、大人に訴えても特に何か対策をしてくれるわけでもなければ犯人も野放しだった もっと痴漢は犯罪であるという認識が広まり痴漢への対策や罰則が厳しくなれば良いと思う。

○警察が、被害者の若い女性に対して、被害届の受理を渋ったりせず、性犯罪被害者に対する正しい対応を取る体制が望ましい。

○周りが自分を批判せず加害者を捕まえてくれたら。

○学校の授業などで、痴漢にあったときの具体的な対処法を教えてくれたら話しやすいと思った。

○簡潔に、現場を見ていた人の時間が取られない聴取など、何らかのシステムが確立されてほしい。

○加害者を社会復帰できないようにしてほしい。

○痴漢は許されない重大な犯罪であることを社会全体が認識し、絶対に許さないという態度を社会全体・鉄道会社・警察などが取って対策も講じていけば、助けを求めようと思えるかもしれない。

○傾聴とかでなく、まず被害にあった人への誹謗中傷やセカンドレイプを許さない社会の共通認識の形成、公共交通機関の痴漢行為への断固たる態度、痴漢に限らず性被害に関わる警察の捜査における尊厳をまもる言動、あるいは受診・警察や駅員への届け出時の付き添い等。自分が被害にあったことを公にしても辱められることのない基盤づくり。

○痴漢、性犯罪者を許さないという社会、大人たちの雰囲気、行動。

○先生や親が聞く、学校でアンケートをとるなど。

○カウンセリングではなく、実際に処罰につながる方法があれば話してみようと思う。

○ひとまずは匿名でメールフォームや電話で訴えることができる場所があるといい。

支援に安心を覚えたら具体的に相談できるとよい。
そもそもハラスメントや痴漢が減ることに力を入れてほしい。

○助けを求める具体的な方法を知っている。
(対処法) 誰に相談したら良いか知っている。

○小学校低学年の頃は、胸を触られる行為が「嫌だ」と思ってもそれが「被害」であると認識できない。どんな小さなことでも「されて嫌なこと」を相談できる場所、できればセラピーのような会があれば良いのではないかと今思う。

すれ違いざまにされたどんなに小さな嫌な事でも、積み重なれば人間不信に繋がる。路上で受けるハラスメント(ストリートハラスメント)について周知してほしい。

今、こうしてメールフォームを開設し調査が行われていることも、個人としては希望に感じる。具体的な状況を思い出して記していると、嫌だなと思っていることを”誰か”に伝えることもできず、すれ違いざま受ける嫌な事に傷ついてきたんだな。と改めて思った。

○小学生でも痴漢被害にあうこと、そういうときどうしたらいいのか、教えてほしかった。

○クローズドな空間よりオープンな空間を作ってくれるところ。

○寝ていても痴漢は痴漢。寝ていれば(寝たふりをしていれば)女性の体に触っても良い(無罪)と思っている人がいるので、寝ていようが酔っていようか痴漢は痴漢で犯罪だと周知させてほしい。

○ちゃんと何か対応してくれる、理解してくれる人がいて、具体的に何かアクションがあると嬉しいです。

○匿名での相談。

○加害を抑止するためのシステムと、適切な通報先のアナウンス。

○すぐに通報や駅員に知らせるシステム、ブザーなどがあると良い。

○男性が、加害を加える男性に対して「痴漢を許さない、見逃さない」というアクションをして欲しい。もし加害の場面に遭遇したら、女性の知り合いのふりをする等して女性を助けて欲しい。女性だけが自衛しろと強制されるのはおかしい。
支援も大事だが、義務教育の中で性教育を徹底して欲しい。プライベートゾーンや女性のNOはNOであること、性同意、避妊、生理、妊娠、墮胎について。妊娠させた男性が一切罪に問われず、やむなく出産し赤ちゃんを放置、または殺害した女性のみが逮捕され罰を受けるのはおかしい。

○防犯カメラの映像、証拠。

○まずはすぐに報告ができる場所。ネットでの通報でも良いので、証拠として記録する。被害に遭った人が悪いと思われる風潮をなくす。

○LINE等のチャットで気軽に相談できるシステムがあると良いのではと思います。

○警察にもっと気軽に相談できるようになるといいと思う。
被害者がさらに傷つかないよう、被害者に寄り添った捜査をしてほしい。
そしてなによりも大切なことは小さい頃からの性教育で、特に男性への性教育を徹底するべきだと思う。女性の体は物ではないこと、女性自身ももっと自分を大切にしたいことを小学校くらいから学校で学ぶ機会を作ってほしい。

○セカンドレイプされない保証がないから相談するのが躊躇う。

○監視カメラや乗物内に防犯ブザー。

○根本的に許さないでほしい。性暴力を許さない支援がほしい。徹底的に社会から追放してほしい。「大した事ない」と言われるのが怖くて誰も言い出せないからもっとおおごとにして波風立ててほしい。

○秘密厳守できるスクールカウンセラーや役所の相談室。

○駅の構内に女性の係員を置いてほしい。男性係員に状況説明をするのは非常に抵抗があります。

○お尻くらいとったりしてましたが今思うと警察に行けばよかったですと思います。その時は対処が分かりませんでした。小さい頃からの教育も必要かと思います。

○鉄道会社や警察が痴漢の被害者に対して相談しやすい雰囲気や環境をもっと積極的に作って発信してくれたらとおもいます。

○あの男たちを全員犯罪者として裁いてもらえると心から信じられるなら、全部警察に行ったと思う。あと自分で制裁できる腕力があつたら全員私が直接殴ってる。

○被害を訴えたときに一緒に痴漢を捕まえたり、声をかけたりして同じ立場に立ってくれる。

○匿名性が守られ親などに話が伝わらない相談室。

○駅に窓口があると伝えてみようと思う。

○低年齢からの性教育。

○周りの大人が助ける。

○仮に通報したとしても注意などで終わるなら相手も逆上したりする可能性もあるのできちんと刑罰を受けて欲しい。電車内に防犯カメラをつけて欲しい。

○性被害は犯罪だと男性側に伝えて、ちゃんと罰せられる社会体制になってほしい。支援も確かに大事ですが、実績として逮捕が増える事で被害者もちゃんと通報する認識が上がり、周りも被害者への二次被害を出さなくなると思いました。仕方ないことですが男性が未だに被害を意識できていないので、深刻な犯罪だと気付いてもらえると、被害時にも助けてくれるようになると思いました。

○駅構内や電車内の動画でアルテイシア氏の動画が流れていたら。痴漢は女性だけでなく冤罪に巻き込まれかねない善良な男性の敵でもあると社会認知が変われば。

○男性の中に、女性はそういったことをされると嬉しいのだという間違っただけの考え方をなくしてもらって支援。女性がわかってくれても男性が多い職場では負けてしまうため。

○わからない。

○被害だと自覚できず、自分を責めて話せなかった。まず本人が被害だと自覚することを広報して欲しい。

○体験談を否定したり、軽んじたりしないで聞いてくれる環境なら、伝えてみようと思います。

○匿名で無料の相談とか？

○なかなかハードルが高く弁護士さんに相談したかったが出来なかったのもそういう方から通告などして貰えたら直ぐに伝えたいです。

○匿名で話を聞いてくれる場。

○痴漢被害を訴えた時に、訴えた側が不利にならない（事情聴取で長時間拘束されない、「思い上がりだ」といった偏見の目を向けられない、声を上げた時に周りの人間が味方になってくれると思える、など）環境が必要だと思います。

○どうすればいいかわからないので、せめて交番の人には（犯人の顔とか覚えていたのでもっとしっかり対応してほしい）。

○ふらっと立ち寄れるセラピー。

○子供でも簡単にアクセスできる窓口を学校が常にインフォメーションする。

○まず大前提として、セカンドレイプや二次被害を受けないなど、心理的安全性が保たれている環境が必要だと思う。

○同性の駅員さんだと言いやすいかもしい。車内アナウンスで被害の相談先なども定期的に放送して欲しい。

○スマホで（このアンケートのように）地域別などで被害を入力できたらいいのでは。

一度、露出被害を交番に話しに行ったら私の前の人の話が長く（その人も性被害のようだった）、やっと私が話せたと思ったら警察官の第一声が「そこだと管轄外ですねー」だった。「でもお伝えしますので」と言われたが、なら管轄外なんて言わなくていいのでは？

○駅のアナウンスで痴漢被害は気軽に伝えてと言っていたら実際に遭った時に伝えやすいと思った。

○「隙がある」「露出が多い服でも着ていたんじゃないか」「不用意に優しくして勘違いさせるからだ」といまだに被害者が悪く言われることが多い。「どんなことがあろうと、性犯罪に及ぶ方が100%悪い」という考えが一般的にならないと難しいと思う。

○匿名で、個人が特定されないような環境があれば発信しやすいかなと思います。

○スマホで相談できる窓口。相談数や検挙数・取り組み内容などを定期的に発信してくれていると、頼りにしてみようと思える。

○今の時代ならSNSなどで相談できる先があればいいと思います。あと社会の風潮がもっと性加害に対して厳しいものになって欲しい。

○なぜ用心しなかったのか、あなたに気の緩みがあったのではなどの言い方をしない前提の体制を作っておいて欲しい。あとすぐに相談出来る窓口の周知を徹底してほしい。被害者は心に余裕がない状態なので相談窓口までのアクセスは近い方がいい。

○絶対に疑われず責められない状態で話を聞いてほしい。

友人にセカンドレイプを受けてから、もうこれ以上疑われたり責められたりしたら耐えられないと思い、警察に通報するのをやめてしまった。

○具体的な取り組みが見える場合。

○プライバシーを守った上で、まず話を聞き心を軽くしてくれる専門機関。

○話を聞くだけでなく対応してくれる信頼感のある場所。

○気軽に話せて、自分がどうしたいか、自分がどう感じているのかを聞いて気持ちが整理出来る。また、ケアの仕方や加害者への対応など教えて欲しい。

○目の前にいる相手が信頼に足る人物(団体)である、場所、など複数の確実な安全を確信できれば。良くなる、ならないはもちろんなれば一番だけど、その前にこの心の傷をどうにかしてほしい。良くなるとか考えられるのは傷の癒えた後で。

○犯人がきちんと裁かれると思えたら通報します。

○防犯カメラの設置、駅員・警備員等の乗車。

○警察の聞き取りが何時間もかかり疲弊した。それで今後は通報しないようにしようと思った。もっとスムーズに終わらせてもらうか日を改めるとかしてほしい。

○被害から時間が経って、あらためて被害者がきちんと守られるために、加害者についてしっかり分析されることが大切だと思うようになりました。加害者の性質を良く知って、被害が起きたのは被害者のせいではないと正しく見てくれる相手がいれば、被害者は「性そのもの」や「男性」「性欲」など漠然としたものを恐れずに、加害者の問題を呪いのように引き受ける必要も無く、PTSDを抱え込まずに生きていけるかもしれません。

○話を聞いてくれて、被害を受けた側を非難しない支援が欲しかった。

○早い段階的性教育やセカンドレイプについて学ぶ機会が学校などであれば、誰かに相談しやすくなると思う。

○飲食店や個人経営の店などの相談窓口がなく、荒々しい人が多い業界やハラスメントが起きやすい場所で働く人に特化した相談場所があったらいいと思います。

○警察がもっと痴漢被害の実情を正しく理解してほしい。よくあること、しょうがないことのような受け身な態度を感じる。

○「痴漢」などという言葉を使わず、暴力として確実に裁く司法の充実。性暴力が世の中に溢れかえるほど日常にあることをまともな男性に知ってもらい監視する社会。

○小学生の私にそんな支援は届かない。でも、私のような人間をなくすためにも痴漢やレイプの被害者には絶対に支援をしてほしいので、そういう情報がTwitterなどで目につくところに流れることを望む。メンタルの相談ができる施設が必要。加害者への厳罰が必要。男子生徒への性教育にAVは作り物で犯罪行為だということを教えないと、快楽が犯罪行為でしか得られない男性を育ててしまう。

○通報しやすい制度。

○セカンドレイプする人たち、「自己責任だ!」と悪い事をしてない被害者を責める人に向かって良くない行為だと強く啓蒙する空気があれば言いやすいように思う。

○痴漢は犯罪で許さないという教育や支援があれば、抱え込まずに済むと思います。

○色んな家庭事情があると思うので学校教育として性教育＝人権教育をしてきていたらおかしいことをおかしい!と思えたり、いやだ!No!を練習していれば被害にあった時に言えたのかな...と思いました。

○社会の性暴力に対する厳しい目(刑法の厳罰化、警察が必ず真剣に捜査すること、電車への監視カメラ設置)。欲しいのは癒しではなく処罰です。

○車内の防犯カメラで証拠を押さえて絶対に犯人を捕まえて罰を与えてくれるのであれば。

○周囲の助け、関心。

○匿名で(特定されずに)通報したい。

○否定が最悪。取り敢えずあったことを聞け。

○当たり前前にそれが被害であることをもって周りの人が言ってくれてたら言いやすかったです。

○被害者がどんな服装をしようとする状況であろうと、痴漢はやった奴が100%悪い。被害者にも何らかの落ち度があるということなど絶対でない、ということが世の中に撤退的に周知されること。

○警戒を怠ったのを失敗だとは思いましたが、自分は悪くない確信があったので怒りをもって対応できました。もし被害者を責めるタイプの人が身近にいたら黙っていたかもしれません。性犯罪で悪いのは加害者であって被害者に落ち度はないと、学校や家庭で繰り返し教えておく必要があると思います。

○痴漢はおかしな人間からの加害で犯罪であると義務教育で男女不問で「一般的な大人の社会」のコモンセンスだと教えてほしい。また「加害者はなんらかの疾患を抱えている」と言うような医学的見知に基づく見解を一般化してほしい。現在は「被害者が一方的に罪悪感を抱えざるを得ない状況」がある。所謂「隙があるから」「ふしだらな服装をしているから」「夜道を一人で歩くから（遊び歩いているから）」等、個人に責任を還元して蓋をしている...クローズドな状態。この構造では、被害者救済・被害発生防止策は取る必要もないものと見做される。加害者支援も同じく放置となる。加害をオープンにし議論すべき問題であると常に定義してほしいのだ。

○被害を否定したり自衛をしると論そうとしないで欲しい。

○自分だけが被害に遭った訳じゃないことがわかり、かつ、自分に落ち度があった訳でもないことを理解してもらえる相手がいるなら、相談出来る気がします。

○今の時代だと、SNS 感覚で出来事を報告できるものがあるかもしれない。可能であれば、その投稿についてのフォロー、専門的な対人支援が必要かどうか希望を聞いたり、など...

○被害にあったとき言葉をかけてもらえると一人で立ち向かわなくていいと思えます。

○街中や駅の構内に気軽に駆け込める場所が欲しい。一度駅員に言ってみたことがあるが迷惑そうな顔をされた。交番には誰もいないことも多い。男性には被害を話しづらいので女性の方がいてくれると安心する。

○被害にあったときへの相談窓口、そこへのアクセスの仕方の周知徹底。性被害に出くわした時の対処法の周知徹底。

○分からない。

○アプリなどで、被害を瞬時に通報できる仕組みがあれば、逮捕率が上がるかと思えます。すぐに逮捕に至らなくても、痴漢は常習犯が多いと思うので、被害状況や犯人の特徴などのデータを蓄積できるような仕組みがあって、被害届も気軽にしやすくなれば今よりマシな状況になる気がします。あとは警察の意識が変わって、面倒くさがらなくなればいいと思います。また一般の人々の性犯罪に対する意識も、諦めではなく、人々が性犯罪に目を光らせるようになったり、困っている人を助ける意識がもっと必要かと思えます。

○SNS で被害者の気持ちに寄り添ってくれる支援が欲しいです。

○ラインなどで手軽に話を聞いてもらえる窓口。

○被害を軽視したり、被害者の落ち度を探して批判しない教育の徹底。また、被害を訴えたときに、ストレス反応として出る涙への理解。女はすぐに泣いて大袈裟だというような態度や無理解があると話そうと思えない。また、性的被害では実際に被害状況を実演させられると聞いたが、こんな二次加害もないと思う。そうした人権無視の捜査手法に対する改革も必要。

○電車内で起きていた状況を録画していたら被害者の証明負担は減るなと思います。また、そのくらいで騒がなくても、というようになりアクションを警察や駅員、周りの人から受ける時に、そばで絶対に味方になってくれる人がいてくれたら心強いと思います。

○親に言うとも怒られる、みたいなこともあるようですので、まずは肉親など身近な人のご理解と心のケアが必要だと思います。

○喋るより、LINE やアンケートなどの方が伝えられるのではないかと思う。

○泣き寝入りをさせない支援。
例えば、通報して事情聴取に応じる時間がなく泣き寝入りする被害者や、目撃者は多いと思います。
通報した際に被害者も不利になるような要因（自己責任扱いでの遅刻や欠席の扱い、長時間の拘束など）を取り除いてほしい。

○男性議員の方々から、女性に連帯を示してほしいです。現状は、問題提起する人が馬鹿にされたり、被害者が二次被害を受けたりしています。特に男性が「女が騒ぎすぎ」「表現の自由を脅かすフェミニストは有害」といった認識を持っているケースが多いと思います。「ノットオールメン論法」ではなく、加害者を許さないと、自分達は違うんだ、一緒にするなど、発言してほしいです。男性への性被害も告発しやすくなってほしい。そうして、男性 vs 女性ではなく、性犯罪 vs 私たち、という対立にシフトしていきたいです。

○責任あるぶしょで、メモで書き込んだら受け入れてくれたらと、今は思う。

○ただ被害を匿名で書いてすてておけるところ(コメントもいらぬ)。

○話しても被害者に更に追い打ちをかけるような人が少なくないので、性犯罪についてのしっかりした知識がある方、良識のある方への相談の仕組みがあるといいです。

○女性のトイレに身体男性が近寄れないようにしてください。また、そういった意見を差別とみなさないでください。こうした不安を理解できない人には相談できません。

○性被害を軽いものとして扱わず、重大な犯罪としてしっかり加害者を罰することが必要。被害者にも落ち度があったというような二次加害などもされない社会的な空気作り。

○痴漢防止ポスターは被害者への啓蒙ではなく加害者に対して絶対許さないという意思表示を打ち出してほしい。

○生理用品のパッケージに DV プラスや性暴力ワンストップ支援センターの相談先を多言

語で QR 付きでプリントして欲しいと各企業、男女共同参画、女性支援団体に何度も伝えてあります。平時だけでなく、災害や困窮で支援物質として受け取る場合にも大きな意味があるからです。

そして、電車内の電光掲示板にも、こんな時は気軽に相談してねと具体例を挙げ、相談窓口を多言語で表示して欲しいです。
毎年女性への暴力根絶とパープルライトアップが開催されますが、そこら中を紫にしても支援者の自己満足でしかなく、何の効力もありません。

せめて期間中は各党議員、男女共同参画や福祉職員は街頭に立ち、夜回りをし、相談先を記載したプリントを配り、もちろんその場で相談を受けるといった具体的な行動を起こすべきです。これも男女共同参画に意見を伝えていきます。

そして、全国自治体が無料配布している広報紙を、配る価値のある中身に変えるべきとも、もう再々大阪府、市、区に伝えていきます。

DV プラスやワンストップ支援センター、よりそいホットライン、いのちの電話、全国被害者支援ネットワーク、ドーンセンターやクレオ大阪の相談窓口、他府県ならばその地域にある相談窓口、その自治体の全市議の連絡先を明記して下さい。

相談窓口一覧の書かれたカードやポスターを作れば良いですが、その予算が無い事をやらない言い訳にさせず、既にある広報紙を徹底的に利用すれば良いだけです。

TV 新聞、ネット環境がなくても、例えば家がなくとも、国民に必要な情報を伝えるために広報紙があり、駅や公共施設にも設置されているので。

24 時間のファミレスやコンビニ、マクドナルドやゲームセンター、ネットカフェ、洋服や女性下着の試着室、10 代をターゲットにしたファッションビル、フードコートなど民間企業に協力を依頼して広報紙を置いてもらい、可能ならステッカーを作って貼らせてもらい相談先を目にする機会を増やす事です。もちろん広報紙トップページの 1 番目立つ場所に「困った時の相談先が乗っています」と明記する必要があります。

そういう積み重ねで、誰かに相談する事は当たり前で、その為の社会資源だという事を子どもの頃から擦り込まなければ相談など出来ませんし、したところで相談を受ける側に知

識とスキルがなく、何の役にも立たないどころか有害でしかない所、山ほどあります。上記の数点、全国で是非働きかけてください。

○相談ダイヤル、警察署の理解ある対応、現状のひどさの周知。

○皆が守ってくれる。という目。

○痴漢が犯罪だと明確に教えられることが大切だと思います。親や学校が、痴漢は重大な犯罪で、された側は被害者だと認識することだと思います。

○痴漢などの被害を報告すると、Twitter など SNS でこの時間、この路線、で痴漢ありと情報発信があれば、報告しようと思うかもしれない。

○男性が加害者になることが多いが、ほとんどの男性は加害者ではないはず。その人たちの理解が深まり、味方になってくれるような支援、教育があるといい。

○オンラインの赤の他人とのセラピーはよかったです。

○無能な警察を減らす。

○小学校や中学校（または子どもでもアクセスができる公民館など）で被害を相談をしに行けるスペースの設置。

○具体的にどこに話をするべきかの通報先があればいい。

○性暴力に遭った後の支援もありがたいのですが、そもそも性暴力がなくなるように環境を変えていただきたいです。

○一緒に怒る等受け止めてくれる、被害者を責めない。

○全ての人間がチカンに会うのは普通でない、という認識であること。

○先生たちもたまにあることとしか捉えてないように感じ、学生時代は女子校に通っていたが、学校に言ってもしょうがないみたいな空気があった。

きちんと向き合おうとしてくれた人はいるんだなと姿勢を見ることができたら、信頼を置いて先生に話せたかもしれないと思った。

○公的機関の専用窓口 同じ店で同じ被害に遭ったひとがいるはず 証拠か現行犯でない と警察動けないと言われた。複数の被害が分かっていたら何か力になるのでは。

○警察が頼りになると確信できること。女性の性被害は、ちゃんと教育と訓練を積んだ女性警察官が対応する仕組み。

○性被害は犯人だけが悪いこと、いつでもアクセスできる支援の場所が周知されること、被害が軽いなんて誰も言わない世界。

○映画泥棒のような感じで全世代が目にするテレビ CM で「痴漢は犯罪です。対処、相談先はこちら」と流して欲しい。幼い子などは自分が何されたのか理解できない。

○チャットなどで吐き出せる場。

○無料カウンセリングなどからヒアリングしてもらえると言いやすいかなと思います。

○10～20代の若い世代の女性による相談システム（オバサン世代は男尊女卑に無自覚で染まっていることが多いため）。相談システムから男性は完全排除。性暴力の厳罰化。警察・検察関係者、裁判官の男女比を半々に。

○気軽にアクセスでき、安心して話を聞いてもらえる場。

○すぐ通報できるアプリ、周りが助けしてくれるという信用、警察がどんな対処をするのか知れるもの。

○フリーダイヤルのような形で、被害についてアドバイスなどはせず、ただ傾聴してもらえそうなものがあったら助かります。あとは、実現不可能かもしれませんが、バスや電車の痴漢を減らすには、防犯カメラの設置が肝要なのだと思います。こういった、届きそうにない声をまとめて、伝えてもらえるような機関があつたらいいな...ともおもいます。

○その場で通報できる。警察に行っても二次被害に合わない。

○本気で犯人を探してくれる。

○このようなアンケートを作って、被害を告白する場を設けていただいたり、性被害の実態を掴もうと動いてくれているだけで、心が楽になります。「加害者が100%悪い。」という意識が社会の中でまだ薄いと感じています。だから、被害者は声を上げられない。特に男性は性被害に遭う確率が女性よりは低いので、実態について理解していないと感ずることがあります。性被害についての教育や、情報発信をもっともっと強化して欲しいです。このアンケートの性被害の種類の多さに、感動しました。ありがとうございます。

○女子学生が痴漢被害に遭って、それを成人男性に説明するのが精神的に辛いと思う。駅員や警察が、きちんとケア知識のある人が対応する(女性が望ましい)ようにして、それを周知させて欲しい。

○社会全体が性犯罪を許さない空気を作らなければ、被害者は話せるようにはならない。電車では痴漢被害が毎日起こってるのに、毎日のアナウンスにすら注意喚起がない。日常化している異常をまず全員が認識できるようにしなければならない。

○ちゃんとした性教育があれば、何か被害にあった場合に、学校なり何なりに話せると思います。(高校生の時も何度も被害にあいましたが、何となく自分にも過失がある&恥ずかしいと思い、話せませんでした)。

○ちゃんと受け止めてくれる場所(snsでもいいし、女性警察でもいいし)。行政に相談しても、トンチンカンな人もいるし心こたないことを言う人もいるし意味ないこともあるから。

○性犯罪の加害者だけが悪く、被害者は悪くないという認知を広めてほしいです。

○法的なもとで、すぐに連絡出来るようなシステム。

○このような匿名アンケートに投稿するだけでも心の整理ができると思います。

関西圏の人間ではないのですが。

○「これはセクハラだ、いけないことだ」という認識が無かったので、(たぶん周りの大人にも無かった)もうちょっとそういう常識が広まってほしい。

○きちんと捕まえて、裁いてくれる当たり前の法環境の整備とそれを広める広報。

○匿名で相談できる場所。警察にいかずにネット窓口などで気軽に地域に報告できてなにかしら対策してくれるなら報告したい。

○周囲の人が助けてくれること。声をかける、被害状況の証言の申し出など。

○話を真剣に聴いてくれる人。被害者に寄り添い100%被害者の味方になってくれる人。二次被害を作らずに解決に当たってくれる人。(ワンストップセンター)

○似たような体験をした人が安全に話をすることができる環境があり、話をすることで痴漢被害を減らすことに繋がるかもしれないと感じたので、今回アンケートに答えることにしました。

○性被害を軽く見る風潮があると思うので、地道にですが性教育が必要ですね。それがないと話せたとしてもそこで終わってしまします。

○笑わないで話を聴いてくれる人がいる場所があれば。

○被害者が声をあげやすい環境が整っていればいいのかとは思いますが、現実的で具体性のあるものは出てきません。いまある女性車両は被害者にとって安心できる場なので、無くさないでほしいです。

○電話相談

○今のように不審者情報が共有され、言ってもいい事だと分かれば言えたと思います。

○受験日当日の朝に痴漢被害にあった人が別の日に再受験の機会を与えてもらえるなら、迷わず警察に相談出来ると思う。路上や電車の中で痴漢にあった時にスマホから簡単に被

害報告が出来て、場所などを他人と共有できるシステム。性犯罪者の写真リスト。

○支援でどうにかなるのか分からない。十分大人になった今でも、個人的に信頼できる人にしか言えそうにないので。とにかく痴漢がなくなって欲しいと思います。

○痴漢や露出狂に特化した、気軽に相談できる窓口。また、性犯罪を徹底的になくすためのパトロールも必要だと思う。

○痴漢や盗撮にあったらどう対応すればいいのかの具体的マニュアル配布。それこそ小学生から。男児向けにも。もしくは具体的対応と裁きのポスターも。変質者への抑止にもなりそう。またそういう変質者がきちんと裁かれている事を知ること。現状ほぼ野放しだけど。自分は悪くないし被害にあったと気づける環境作り。男児男性も啓蒙と教育。女だけの問題にしない事。社会問題です。

○フリーダイヤル

○痴漢を自力で捕まえることはとても難しい。通報フローのようなものを警察が確立して周知して欲しい。

○痴漢なのかな？という疑い程度でも、お話し聴かせてください。抱え込まないで。という姿勢が見えると、通報、相談しやすいです。

○痴漢に大きな罰を与える。全ての交通機関に男性を分ける、近寄らせないようにする場所の提供。

○私が SNS で打ち明けたのは「ここなら聞いてくれそう」と思えたから。性被害があった時に利用するというのもそうだけど、日頃から「ここなら助けてくれる」といったイメージがあるといいかも？被害にあってから初めて調べたり検索したりするのは負担が大きくて、もしかしたらそんな気力もないと言う人も多いかもしれない。当事者だけでなく、SNS などですり出した告白があった時に、まわりが「こういう支援もあるみたい」と教えられるよう、日頃から呼びかけて認知度があがるといいかもしれないと思った。

○想像つかない。

○せめて、性犯罪被害に遭った女性が責められないようになってほしい。

○警察とかが「痴漢許しません」とかいうのを大々的に CM とかでやればいいのかない。

○まずは性被害にどういうものがあるかを知ること、被害にあった時は匿名で相談出来る先を日常的に発信すること。

○被害者が非難されず、きちんと対応してくれる認識が必要。

○痴漢やストーカー被害に対する法改正。

○携帯で周りに被害受けてると伝えられるようなアプリあればいいと思います。

○アプリや SNS など気軽に被害を相談することができる媒体。

○匿名可能、正体隠匿可能な電話相談、窓口相談など。

○被害は突然なので、すぐに通報出来る仕組みがあればと思います。

○話を最後までちゃんと聞いてもらえて、解決する策を考え実行に移してもらえること。

○みんな友達には話しているのではないかと思う。そうではなく、きちんと犯罪として処罰できるように法整備し、訴えられる窓口を整備するべきだ。

○犯罪であり、きちんとアナウンスをしてほしいし、もっと世論で取り上げて加害の意識付けを徹底し、被害者が二次加害を受けないような法整備をしてもらいたい。

○痴漢は犯罪という車内放送やポスター。

○警察のように自分の身元を聞くだけ聞いて、何も無いような感じなら、相談したくない。大層にならず、言いやすい場なら有り難い。

○高校でそのような時の相談できる場所があれば良かったのと思います。当時は電車内の痴漢は多発していたのに、不運なことで諦めるしかないという風潮だった。ちゃんとその後のフォローをする場があ

ること、対処の仕方等学んでいたら、わたしも違う対応ができたと思います。

○痴漢などの性被害は、加害者が100%悪いのにも関わらず被害を受けた被害者は声を上げることができない。実際、私もどこかで被害を受けた自分に対して恥ずかしい思いがあったのかもしれないなと思います。

誰もが被害者になりうることとしてこの問題を捉えてほしい。

どんな状況だったら伝えられるかは、今の私にはよく分かりません。

ですが、初めて今こうして自分がされたことについてアンケートに書くことが出来ました。

○女性への性暴力を真剣に受け止めてくれる機関なら相談したいが、身体が男性の人が女性トイレや風呂などについて不安や疑問を口にすると差別者とレッテルを貼るような性自認至上主義を推進しているところには相談したくないです。

○支援というとな難しいのですが、具体的な事例を挙げて、こんなことでも被害だと言っていいんだと思わせてほしい。または、これは被害なんだ、話したり通報したりする類のものなんだと気づかせてほしい。話したときに、自分の落ち度を責められないか心配なので、その不安を払拭するような体制であってほしい。話したあと、行動を起こす必要があるものについては、一緒に動いてくれるサポーターがいてくれたら心強い。

○どんなことが痴漢や性被害にあたるのか。匿名での窓口。『相談』となるとハードルが高いかもなので、起こったことを伝えるところ、とか。

○監視カメラ

○女性の駅員さんがいれば話しやすかったかも。

○鉄道会社や鉄道警察には「通報してくれてありがとう。おかげさまでより安全な車内に取り組みます」といったメッセージをだしてほしい。

○痴漢を通報したら、そのあと不利益を受けないことの安心感があったらよいと思う。た

例えば受験生には遅刻の救済措置があること、会社では欠勤扱いではなく通勤中の労災扱いになること、取り調べや調書作成の時間は柔軟に運用できるなどがあればよい。そしてそれを周知してほしい。あとの流れがどうなるか分かっていたら、通報や相談のハードルが下がると思う。

○加害をみかけたら見てみぬふりをしないことや、通報があったら居合わせた人みんなで助けるといった行動が当たり前になることで、社会な人間全般への信頼が築けると思う。

○痴漢とセカンドレイプを許さないことです。

警察に行ってセカンドレイプや不適切な対応をされたとよく聞くので、警察官への研修です。

駅や電車内に防犯カメラを設置することで。

○日本の国自体が痴漢は犯罪だと言う事でなくよくある事的な風潮がまだある様に感じます。

冤罪ばかりを強調したドラマや報道も多く男性側に立って被害女性側の立場に立っていない。

海外では許されない事も制服アニメやミニスカートアニメなどで女性の日常を性的消費にされているのが日本は恐ろしいなと思います。痴漢は犯罪の徹底。助ける男性も日本は少ないのでまず男性側の意識を変える事。被害者は悪くない事を徹底させないと被害者は相談出来ないと思います。

○自力で立証しなくて良い、バスや電車機関での情報収集のシステム。時間がなくても、立証できなくても伝えることは出来る。→色々な乗客から情報が複数集まれば、警察ざたになった場合も、被害者の役に立ちそう。が、冤罪に繋がる可能性もあるので、それはどうしたら良いか分からない。

○気軽に相談できる窓口の周知。SNSなどで拡散して周知徹底してほしいです。チャットや女性相談員が親身に相談にのってくれる環境があるといいです。

○セカンドレイプをしないでくれる場所。

○痴漢被害を受けて心的負担を感じたのは小学生の時で、大人になって「痴漢よ、かかってこい」くらいの気持ちでいたら、全く痴漢に合わなくなりました。

子どもの時は親にも恥ずかしくて言えず、どうすればいいかもわからず、1人で電車に乗るのが嫌でした。通学で電車を利用している小中高生などはそんな思いをしている子も多いと思います。

痴漢は犯罪です。痴漢にあったら相談をというポスターを電車内にできるだけ多く貼り、抑止効果を持たすとともに、悩みを吐き出すため電話やSNSでの支援があればと思います。

○被害後、通報しても犯人を捕まえるのは難しそうで、説明の恥ずかしさもあり、通報しても仕方ないと思ってしまう。通報とは違う、被害にあった悲しさや怖さを解消する為の相談場所が、LINEなどであると、気持ちが落ち着いたり、通報や家族に相談するなど、しやすくなるかもしれない。

○学校などで、定期的に痴漢などにあつていないかなどのアンケートをとるとか、痴漢にあった時にためらいなくすぐに話せる教員がいることを目に見える形で子ども達に認識できるようにする。

○話せる勇気が必要だと思うので、直接ではなくてもネットや手紙などで聞いて貰える場があるといいと思います。

○匿名で相談できる場所があればいいと思う。

○恥ずかしくない、話しても怖くないと思える安心できる環境があればいいと思う。

○気軽に相談できる窓口があるといい。初めての時は警察も怖い。でも行ってみて安心できたし、行ってよかったと思った。

○学校教育。被害を受けたときの対処法など。

○どうせ言っても仕方がないと諦めなくてもいいようにしてほしい。

○あなたは悪くないと言うことを最初に言ってほしい。私も最初は夜遅くに歩いたりミニ

スカートをはいてたことが悪いのかと自分をせめたから。

○痴漢は刑罰の対象になる犯罪であると明確にすること。

○よくある「被害に遭ったら教えてね」という発信でなく、このアンケートのように、もっと積極的に「解決するから被害について教えてほしい」という姿勢で被害者と向き合ってもらいたい。

○痴漢や性犯罪の罰則を厳しくしてほしい。性犯罪者は再犯率が高いと言います。それは悪いと思っていないのか癖なのか、禁固年数を引き上げる、レイプ犯罪では性器を切り落とすぐらいの罰を与えてほしいです。2度と性犯罪が行えないように。

被害を受けた側はこれからも怯えながら社会で生きていくのだから。

○昔は携帯もスマホもなく、その場で通報もできなかったが、今なら位置情報を通報できるアプリなどで連絡したり気軽に相談できるのかもしれない。

○匿名で痴漢情報をタイムリーに共有できるようなものがあれば。警察も連携するような。

○まずは、その被害が犯罪だという教育が必要。男女とも。

○わかりません。そもそも痴漢が犯罪であることを広く知らせ加害者をなくしてください。

○常に助けを求める。

○駅や各施設、学校などに痴漢報告窓口（ネットでも）があれば、捜査までは希望しないが報告だけしたい。どれだけ多いか把握しようとする姿勢が欲しい。

○性犯罪者にはデコ入墨刑

○気軽に発信できる電話相談や書き込み。

○アプリやチャットなどでの気軽にできる通報システム。

○話を聞いて、警察に連絡して欲しい。犯人を捕まえて罰して欲しい。心のフォローをして欲しい。

○プライバシーをしっかり守り、被害者の気持ちに寄り添って対応してもらえる機関があると良い。

○NPO が動いてくれたならと。

○女性の同行者が被害者を守る必要がある。犯人が釈放した後、半年間は、ストーカー対策としてパトロールや、定期的に電話でケアして欲しい。警察で、取り調べがあり、被害状況を、具体的に、再現する。警察の方は女性とは限らない。それが嫌でほとんどが泣き寝入り。犯人の名前など知りたくても、プライバシーの問題で、被害者名を相手にも伝えないと教えてもらえないのは、いかがなものか？

○傾聴してくれる支援

○世間の常識は女性を含む全てのマイノリティにとってしばし非常識です。なので、（性別を問わず）被害者、サバイバー、まだ被害に遭われていない人たちを一方的に責めない意識を持つサポート機関が必要だと思います。

○支援、わかりませんが、社会的雰囲気改善なんだと思います。こういうことがあった、嫌だったと言え、受け止められる環境がほしい。

○痴漢被害に遭ったことを呟いたら、あとでフォローがある SNS。

○被害にあった場合に SNS で素早く気軽に被害届けが出せるシステム。

行政が運営する安心して相談できる相談センター。

痴漢が性犯罪であり深刻な問題だと、多数の国民に認識され 2 次被害に合わない社会。

○痴漢は犯罪という、社会的な理解があるといい。男性の方に、そういう行為は恥ずかしいことだという意識がない。我慢できないのは大人として異常だと思うが？

○痴漢はされる方も悪いなどという風潮がなくなること。

○通報が簡単、時間が取られない、加害者の写真などで通報できる等。

○被害者の交流の場があれば言えたかもしれない。

○痴漢やハラスメント被害にあったら報告する機関があって、そこが統計をとったり調査して、パトロールしてくれるといいな。加害者はだいたい常習犯で同じことを繰り返していると思うので。

○当時は自分に何が起きているのかがわかっていなかった。まだまだではあるが、いかに女性が当たり前のように性の被害に遭っているかを、自分も含めてやっと周りに言える時代になってきたのだと思う。こういった行為は犯罪だということ、被害者は悪くないということ、被害を受けているのは自分だけではないということを女性だけでなく男性にも積極的に発信してほしい。同じ被害を受けている人が見たら、私も、と声をあげやすくなると思う。

○電車に防犯カメラを付けてほしい。

○受け止めてもらえると思える環境。

○痴漢をされた後の支援は必要だと思いますが、それをいくらしても、痴漢はなくなりません。迷惑行為防止条例などではなく、性犯罪としていちいち本人もまわりも認識してもらえるようにすべきだと思います。

○電車内や路上で、痴漢は犯罪です、などのアナウンスや広告。

○ボディーガード的な

○電話相談出来る機関

○警察に言うと、どういうフローで進んでいくのか事前に知っていて、それが安心できる内容なら伝えてみるかも。

男性が多い警察署や交番に行くのも怖い。誰か第三者に伝えて、一緒に対応してもらえるなら少しは伝えようと思うかもしれません。

○警察に届けるのはハードルが高かった。届け出るレベルなのかがわからなくて。

○このアンケートで、話せる事ができました。

○支援の前に、幼児期からの正しい性教育。事前に保護者や大人と信頼関係を結び、何が性被害なのか？被害にあったらすぐ報告できる環境を作るのが大事。

○確実に助けてもらえる、犯人を捕まえようとしてくれるなら。

○とにかく厳罰化、警備に力を入れて欲しい。

○まずは、電話でも、スマホのラインでも受けとめて話を聞いてくれる居場所が欲しい。警察に言ったところで、根掘りはほり、取り調べを、受けて、トラウマを植え付けられるのが、せきのやまだとおもう！警察のやり方もいい加減被害者の目線になって欲しい。

○やはり児童・生徒の発達段階に応じて正しいジェンダー知識と意識を量的にも質的にも充実させることだと思う。次世代への期待として。

また、中高年層のひとりとしては、被害者も加害者もその経験をフランクに話し合える場が設けられたら(被害者だけのグループや加害者だけのグループ、あるいは性自認が同じもの限定など)少しは性被害減少への取り組みが進むかも知れない。(漠然とし過ぎていて申し訳ないです.....)。

○警察が痴漢を犯罪者として扱うことが大前提だと思う。犯罪を犯した人間の人生なんか庇う必要がない。

○気軽に相談できる第3者機関

○被害にあったことを話しても批判されたり、否定されたりしない相談者がいること。

○男性にも女性にも、教育の場で、どんな理由であれ、セクハラはしてはならないことを子どもの時からしてほしい。

自分と特定できないような感じで、また否定や大したことないと言うのではなく、何でも話聞いてもらえると言う安心感が有れば1人

で抱えこまないようになる気がします。またsachico みたいなところがあることも市民に知らせて欲しい。

○彼の行為が性暴力の一つであり犯罪であることを小学校で教えて欲しい。

○匿名でのカウンセリング、警察などへの情報共有

○共感してくれる人がいたら。

○被害に遭ったことを責められない環境

○そういう話を普段からしていたら、話せたと思う。

○自分が悪くないと思える環境。

○自分の方に油断があったかもと恥じる自分がいました。話す相手が女性であっても言えなかったと思う。

○ネット回答でもいいので、何かあったらすぐ情報を提供出来る場(システム)があると助かる。

○痴漢は、罪だということ、人として相手を見てない許されない馬鹿がやることと社会通念にして欲しい！

○インターネットで書き込みや電話

○被害者窓口

○警察は被害届を受理するだけでなく、進捗状況も知らせるべき。

○相談窓口があることを普段から知っていたら伝えたかった。

○私自身は、心の被害にあっていないので、どうしてあげたらいいかは、わかりません。

○指摘・注意、場合によっては退席させる人がいてくれる人の存在があること。

選挙管理委員会や役場に、セクハラ等の問題に対応してくれる相談先を設置されること。

○社内に防犯カメラを設置、女性専用車両に乗ってる男性に対して注意してほしい。警官がパトロールしてほしい。

○二次加害を許さない。

○学校で性犯罪への対処法や、警察への簡単なアクセスがあれば良いと思う。

○被害を訴えても冤罪を疑われたり自衛不足と責められたりするのが怖いから被害状況を聞いてくれるだけでも良い(クソみたいなアドバイスはいらない)。

○普段から痴漢やセクシュアルハラスメント、そして人権、ジェンダーなど自由に話すことが出来る環境づくりが大事と思います。

○痴漢は犯罪であることを、教育の場や社会・マスメディアなどで、繰り返し発信し続けることが必要。また痴漢などにあった時は〇〇へ、などとの対処法の周知も必要。被害者が、言っても仕方ないと思わないよう、社会のあたたかい目、一緒に憤慨してくれることが大切。

○勤務先の場合は社内人事などと代理協議してくれるような社外の相談窓口（社内で直接相談するのでは雇用に支障が出る恐れがある）。通勤途中や路上、自宅周辺については警察以外には思い浮かびません。

○専用の相談先があればいいなと思う。最寄りの交番を検索して通報しようと思ったけど、あまりスムーズにできなかったの。

○同性だと話しやすいかもしれない。

○抽象的にはなりますが、加害者と利害関係のない学校の先生や第三者に相談できる体制があると良いです。

○不動産会社や不動産業界の団体、消費生活センターのある独立行政法人のような所で、相談窓口を設置していただくと助かります。また、テレビ・新聞・パンフレット等の様々なかたちで、相談窓口の周知を徹底したり、全ての不動産会社の店舗やサイトに相談窓口を知らせることを義務づけて、お客さん一人ひとりに届くようにしてほしいです。

義務づけることで、不適切な言動をするスタッフへの抑止力や被害防止に繋がると思いません。

○各ビルや施設の警備会社の連絡先を貼り紙やサイトで周知することです。（警察の場合は、通報する程の出来事ではないかなと過小評価したり、真剣に取り扱ってもらえないかもしれないと不安になり、ハードルが高いです。ビル内のお店や施設の場合は、スタッフに声をかけて大事にしたいくないし、お客さんや利用者にも影響が出てしまうのではと気を遣います。作業や接客で忙しくされていると、声はかけづらいです。）

○幼稚園や保育園等で、幼児でも伝えられる相談体制を作る。性教育を充実させ、性的なことやハラスメントを受けたら相談することを促す。

○声をあげたら迷わず助けてくれたら言いやすい。

○痴漢行為が罪として軽視されている風潮を感じるの、このくらいのことで警察や周りの支援を求めてはいけない...と考えてしまう被害者の方々は多いと思います。痴漢行為の罪の重さを喚起するような、抱え込む必要はないと思えるような支援があると声を上げやすいかと思います。

○助けの声をあげたときに誰かが助けてくれる、と信じられる社会。過去に声をあげても一度も助けてもらえたことはない。

○教育の徹底、職場に被害を相談できる場所を設け、周知徹底する。

○警察に専門窓口がほしい。気軽に通報できるような...

○ショッピングモールやショッピングモールを運営する所に、トラブルや犯罪を相談できる場所や連絡先（メールフォームやチャットといった、名前等の個人情報を伝えなくていい方法も含める）があると助かります。お客さんの声を上げやすくすることで、トラブルや犯罪を、ショッピングモール側が直接把握し可視化できれば、ショッピングモールでの対策の検討や実施・トラブルや犯罪の防止に繋がると思います。

○相談の窓口が複数種類あり、その窓口がどんな相談の聞き方、支援の仕方なのか、広く一般に認知されていることが前提で、どの窓口でも秘密が厳守されるならば、伝えてみようかなと考えるかもしれない。自分なら入り口は SNS オンラインのほうが入りやすい。

○夜道の一人歩きは怖いので、コンビニなど明るい場所に「避難 OK ですよー!!」みたいなステッカーとか掲示があるといい。
私は、電車の痴漢にしか遭ったことがなくて、その場で痴漢にヤメロと言ったり周りの人に助けってもらったりと、その場で解決してきた。ただ、口に出せない人は、LINE やチャットで相談できたらハードルは低いのでは。匿名であっても気持ちが軽くなったり、相談するうちに、電話や面談で相談したいという気持ちになったりするかもしれない。アプリで地図上に被害を書き込んでいくようにして危険な場所を特定するような対策ができないかなと思う。天気や渋滞の情報のように。深刻な被害は、その限りではないでしょうが。
あと、警察は事情聴取のあり方を見直した上で、被害届出してねー！と再発防止につとめてほしい。

○私はひとりで抱え込みませんが、セカンドレイプや被害者にも悪いところがあるという風潮を徹底的になくすことでしょうか。責めたり茶化したり軽く考えたり他者に話したりせずに、真面目に聞いてくれる事が先ずは有り難いと思います。

○電車の本数を増やしてほしい。

○痴漢についての基礎知識。

○痴漢を厳罰にし、電車など被害が多発するところは監視カメラを置き本気で摘発してほしい。そうしないと痴漢が重大な人間侵害ということがバカな男どもに伝わらない。支援ではなく法改正を。繰り返すが痴漢が重大な人権侵害で重罪、訴えると対処してもらえるという認識が広まらない限り被害は続く。警察は対応してくれないので、付き添い等してくれる第三者の支援が欲しい。

○無料の電話相談や相談窓口

○LINE から被害を報告できたりしたら、電話で通報よりもハードルが下がる気がします。

○あまり家族には知られたくないので、家族以外の外部ツールがほしい。

○当時は警察に通報するべきか分からなかった。同一人物による被害が出ないように、匿名で通報することが可能だったらと思う。

○わからない。でも誰かに助けてほしい気持ちはある。

○女性の性被害について相談できる体制がほしい。

「これは立派な性暴力にあたる」という基準を明確にし、社会として全女性に啓蒙してほしい。

○当時はその嫌だった、気持ち悪くてむかついたという気持ちに嫌やな、許されへんなと同感してくれて怒ってくれることを当たり前だと思っていたが、いろんな方の話を聴き、それは当たり前じゃないのだと知った。自分が一人で抱え込まずすぐに家族に話せたのは、家族仲がかなり良く似たような考え方をしているのもあって「この人たちに話しても絶対に大丈夫」と当然のように思っていたから。だから、そういう「被害の話をして被害者を否定しないで聞いてくれる」と被害者が当然だと思って話せる場所があることが大事なのだと思う。それは自分の場合家族だったがみんな家族がいるわけじゃないし、家族を頼れない人も沢山いるだろうから、色々な、そしてアクセスしやすいカジュアルな窓口があればいいと思う。理想は調べなくてもいい窓口だと思います。相談したい→調べるがない(周知されているとか、それがあって当然と言う環境になっている)が理想ですが...